

科目名	年度	レポート番号	クラス	学籍番号	名前
API 実習	2023	3	B	20122006	五十嵐 鈴

レポートは 3 ページ以上、5 ページ以内とします。5 ページを超えても構いません。ページ数や文字数よりも、わかりやすく書けているかどうか、点数アップの分かれ目です。改行で稼ぐ行為は減点対象です。

調査レポート名 AI 時代の到来で変わる CEO の意思決定 (<https://www.ibm.com/downloads/cas/AAYNYWE2>)

調査レポートの要約

CEO に求められる意思決定は不確実性が高く、繊細さを要し、影響も大きい。世界が複雑化するにつれ、CEO が担う意思決定の性質もますます複雑化している。CEO を悩ませている課題は、財務状況よりも複雑性を極めた問題であり、人工知能（AI）、サステナビリティ、サイバーセキュリティ、DE & I などが最優先課題とされている。しかし、AI 導入には経営層の意見が割れ、スキル不足の懸念もある。

CEO は生成 AI の登場に期待しており、これを導入することで全社的なメリットを享受できると信じているが、経営層の一部は慎重な姿勢を示している。この状況に対応するために、IBM（IBV）は CEO および公的機関リーダーを対象に調査を行い、意思決定における課題や展望について分析している。

一部の CEO は生成 AI が意思決定に与える影響を全社的な視点から探り、その結果をもとにリーダーの意思決定がどのように進化し、変化への適応力を高めるべきかを議論している。AI などのデータ活用ツールの影響に焦点を当てつつ、CEO の意思決定が組織全体にどのように浸透し、どの意思決定が特に重要かを探求している。

データ駆動型の AI ツールが意思決定を簡素化、迅速化できる一方で、CEO は潜在的な脅威や倫理的な問題にも注意を払わねばならない。新しい分野が登場し、考慮すべきデータが増加する中で、CEO はさまざまな情報を基に戦略的な意思決定を行う必要がある。

CEO によるグローバル調査によれば、CEO は依然としてオペレーショナル・データ（76%）と財務データ（75%）を最も頼りにしていることが分かります。しかし、最重要の意思決定においてはデータだけでは不十分であり、4 人中 3 人超がその重要性を強調しています。CEO は部下の情報や個人的な経験、直感も大切にし、意思決定においてバランスを取ることが求められています。

特に、データを活用する CEO グループは財務上で他社よりも優れた成果を上げており、デジタル・インフラとデータに高い信頼を寄せています。しかし、同時にデータだけに頼るべきではないとの強い信念も持っており、様々な指標や情報源を活用して組織の実績や健全性を網羅的に把握しようとしています。

CEO はデータ駆動型の AI ツールを活用する一方で、その活用には潜在的な脅威や倫理的な問題にも慎重に対応する必要があります。データの重要性は変わらず、明確な指標があれば企業の成果向上や信頼向上に繋がるとの認識が広がっています。

生成 AI の導入に関しては CEO の期待が高まっていますが、社内での具体的な指針が整備されていないケースが多く、デジタル人材の確保や人員体制の変革には課題が残るようです。CEO と経営層の認識には隔たりがあり、特に AI のメリットや準備状況に関しては異なる見解が存在しています。

Neste 社の CEO である Matti Lehmus 氏によれば、AI の導入にはデータ、IT、およびビジネスプロセスに通じた知識を一体的に活用できる人材が必要であり、これによって初めて AI を活用して価値を創出できると述べています。AI への移行において他社をリードするためには、CEO は全社的な明確な意思決定を行い、目標に基づいて人材を揃え、人員計画を練る必要があると語っています。特に、サステナビリティとサイバーセキュリティは今後 3 年間の CEO の最大の課題とされています。

CEO や経営層の約 50%は現在、サステナビリティ目標にリンクした報酬を受け取っており、サステナビリティ戦略をデジタル・トランスフォーメーションに連携させることで、最大 41%高い収益成長率を実現している CEO も存在すると報告されています。しかし、サステナビリティの目標を掲げる企業が多い一方で、その目標を達成できている企業は 10%にとどまり、信頼性に疑問が残るサステナビリティのレポートも見受けられます。

また、データのセキュリティやサイバーセキュリティに関しては CEO の 76%が基準とガバナンスの一貫性が必要だと考えており、データとサイバーセキュリティに関する意思決定が増える中で最高データ責任者（CDO）の重要性が増えています。ただし、データ管理には依然として課題が残っており、信頼性、法規制上の障壁、データのサイロ化および統合の不十分さなどが挙げられています。

最後に、生成 AI の登場によって企業の将来に大きな可能性が秘められている一方で、CEO が最も苦労するのは物事がはっきり見通せないことであり、これに対処するためには慎重なデータ活用と意思決定が求められます。

CEO に求められるのは、まず明確な計画を策定して着実に進むことです。新たな流行や安易な弥縫策に振り回されず、現状に甘んじない強い向上心が求められます。また、CEO は時には不確実な状況下で決断を迫られ、将来を確信して予測することが難しい中で、必要なら自らの力を信じて柔軟な方向転換を図ることも必要です。

AI が人間の作業に介入する中で、競争力の在り方に新たな変化が生じています。CEO は単一の意思決定モデルだけでは対応できない多様な状況に対処するために、傘下のチームや人材に信頼を寄せ、投資を行いながら成果を上げなければいけません。情報が重要であり、AI を活用してプロセスやパターンを特定し、競合他社との比較を行うことで、意思決定を補強しています。

CEO の意思決定には直感や経験も重要ですが、それを数字や分析で補強することが不可欠です。将来を見据え、どのように対応していくか、どこに焦点を当てていくか、といった動向を確認し、守り固めるか、新たな戦略を打つか、将来を見極めるためにどのような取り組みを行うかが重要です。先見の明がある CEO は、世界の将来に対して前向きな展望を持ち、その実現のために AI の有効活用を優先的に進める必要があります。

あなたの考え

CEO の役割がますます複雑化しており、新たな課題が浮上していることが明らかです。特に AI の導入に関しては、経営層の中で賛否が分かれ、スキル不足への懸念が存在しています。ただし、CEO たちは生成 AI の登場に期待しており、これを組織に取り入れることで広範なメリットを受け入れることができると信じています。しかし、中には慎重な姿勢を持つ経営層もあり、AI の導入に関する異なる意見が存在しています。

CEO にとって最大の課題とされているのは、サステナビリティやサイバーセキュリティの領域です。これらの分野では全社的な意思決定が求められ、特にサステナビリティに関連した報酬を得ている CEO も多い一方で、目標の達成にはまだまだ課題が残っているようです。

データとサイバーセキュリティに関する CEO の意識が高まっており、最高データ責任者（CDO）の役割が強調されています。しかし、データ管理には依然として問題があり、信頼性や法規制上の障壁などが指摘されています。

生成 AI の登場によって企業の将来には新たな可能性が広がっていますが、CEO が直面する最も難しい課題は未知の要素が多いことです。この課題に対処するためには、慎重で効果的なデータ活用と意思決定がますます重要になっています。

全体的に CEO の役割は多岐にわたり、組織をリードする上で幅広い課題に対応する必要があります。これらの課題に対処するためには、柔軟性とリーダーシップの両方が求められていると考えました。

- サステナビリティ：「持続可能性」を意味する言葉で、持続可能な発展を目指す考え方や取り組み
- サイバーセキュリティ：情報の機密性、完全性、可用性を確保すること
- DX（デジタル・トランスフォーメーション）：

企業が、ビッグデータなどのデータと AI や IoT を始めとするデジタル技術を活用して、業務プロセスを改善してだけでなく、製品やサービス、ビジネスモデルそのものを変革するとともに、組織、企業文化、風土をも改革し、競争上の優位性を確立すること。
- ESG（Environmental, Social, Governance）：

企業が環境・社会・企業統治に配慮する考え方であり、社会に負う責任
- データセキュリティ：

物理的なセキュリティの侵害、データ侵害、またはサイバー攻撃によって引き起こされる可能性がある未許可アクセス、破損、盗難からデジタルデータを保護するプロセス
- 意思決定モデル：

企業の利益につながる意思決定を行うことを目的として、チームを導くために用いられるプロセス
- データ駆動型：データを元に次のアクションを決めたり、意思決定を行ったりすること
- DE&I（Diversity, Equity, and Inclusion）：

従来、企業が取り組んできた「ダイバーシティ&インクルージョン」に「公平／公正性（Equity）」という考えをプラスした概念
- IBV（IBM Institute for Business Value）：

世界中の企業や政府が直面する経営上および経済上の問題に焦点を当てたビジネス研究組織
- データサイロ化：組織の内部でデジタルデータが分散して保管され、有効活用されていないこと
- デジタル人材：DX の推進を担う多様な人材の総称